

# いわき民報

所行發  
社報民きわい  
（第一八三番）地一町田市平  
己克羅千 人務総局郵  
く除九日曜月毎刊日  
或十二部一四一五ヶ月一價定

平市五丁目  
又 釜屋商店  
電話九番九九番

## 磐南臨海鐵道創立

### 小名濱 鐵道新構想で發足

小名濱町から江名町に至る臨海平といふ短距離間だが、江名町は十米を最高にトンネル延距離八鐵道延長問題は、江名町民の線山から海へ直結してゐるためトネル掘鑿七ヶ所の多数に上り動かされ、臨海鐵道側も實施計永崎から中の作に通ずる二百六畫を急いでゐたが、同臨海は日立製作所の出資會社の關係から目下の處既定計進行に妨からず支障あるため臨海鐵道の主道權を握る日本水素工業が音頭を執り、新たに資本金四百萬圓の磐南臨海鐵道株式會社を創立し小名濱、江名間の臨海鐵道完成後現在の臨海鐵道を汲集合併することになり、日本水素會社側では小名濱、江名兩町當局に對し磐南鐵道創設について正式發表、積極的な援助を要望してゐる。

## 夏秋蠶の割當決定せる

### 全桑葉の完全利用を目指し 三眠迄共同委託飼育を實施

市郡下の春蠶は掃立蠶種の不良の桑葉は、後日相當の價格を支が十グラム三十五圓、三眠迄から目標の一萬一千三百貫を下拂ふが、すべて無條件で提供さ六十圓と決定、産繭に對する獎勵としてしまつたので、夏秋蠶にせる方針もある。更に共同實物資は稚蠶飼育者に三割壯蠶に於いて挽回しやうと、地方事務飼育稚蠶の配給價格に飼育料飼育者に七割の割で配分する所では三日割當完遂の懇談會及び桑葉代一切を含めて二眠迄ともなつた。

## 稚蠶兒の配給區域

### 初秋蠶の委託飼育先づ決る

（植田、勿來方面にて）  
前村配給三〇〇グラム（赤井方面にて）  
三阪澤渡村配給五〇〇グラム（四倉、大浦、大野方面にて）  
水戸村配給五〇〇グラム（草野、神谷方面にて）  
川前村配給四〇〇グラム（豊の状況調査を行つたが不備状況間高久、夏井方面にて）  
山入選野配給六〇〇グラム

## 不完全

市内の農産設備、傳染病預防対策の第一着手として市では昆虫類發生箇所調査（草野、神谷方面にて）  
川前村配給四〇〇グラム（豊の状況調査を行つたが不備状況間高久、夏井方面にて）  
山入選野配給六〇〇グラム

も頗る大きく、臨海鐵道も、江名港の漁業發展に寄與する處大なるものがある

## 榮譽の兩交換嬢

平局の電話交換嬢布川花子さん（二〇）と武藤悦子さん（一七）は去る一日附で通信院總裁から表彰された交換嬢の最高の榮譽をになつた兩嬢は舊臘中實施された親切週間に於ける成績が抜群であつた上、就職日淺いにも拘らず加入者から二回にも亘つて感謝の手紙等を寄せられてゐる、優秀者である平局では斯くてこそ交換手の範であるばかりか、平局の榮譽でもあると全局員に傳へると共に局としても近く表彰の功に酬ゆることになつた

## 通信院總裁から表彰

【塵箱】備付戸數一四七三ヶ、未備付戸數二二四二ヶ、有蓋箱四一ヶ、無蓋箱七九ヶ、破損三五七ヶ  
【水槽】満水せるもの五九九ヶ、空水のもの七八〇ヶ、破損四三九ヶ、他に轉用せるもの四七〇ヶ

## 消費専門委員決定

### 初委員會も来る八日に召集

平市の食糧對策委員會の消費専門委員は未定だつたが五日漸く左の如く決定を見たので来る八日に初顔合せを兼ねた第一回委員會を召集する

## 島田平館主の美譽

活動常設館主島田平三郎氏は平商學徒後援會解散に當りその勞を稱ふため、来る八日の午五時からの映畫に招待することとした、全氏はさきに第二十八回平商學生に對しても浪曲に招待したこともあり關係者から感謝されてゐる

## 新時代の洋裁講習

安積洋裁學院では終戦後婦人の洋装が著しく増加すると共に今更モンペ姿でもあるまい、新しい時代に即應した活動衣への更生こそ最も大切だと、来る十二日から三日間平市第二國民學校禮法室で洋裁講習會を開催するに

## 電氣蒸パン器 販賣開始

市内の三店から危機突破の粉食時代に即應せしめやうと平市新川町の第一通信工業株式會社では、技術陣を總動員して簡易電氣蒸パン器の製作中のある見事成功したが、以來數次に亘る試験の結果充分な自信を得たので販賣を待ち焦れてゐる市郡民への要望に應へるため、いよいよ五日から賣出しを開始した、販賣元は田町磐城物産會社、五日目釜屋商店及び三丁目の大黒屋商店の三ヶ所、小賣價格は一個六十圓である、向これが使用方法は極めて簡單で、即ち

## 夏秋蠶割當

町別	初秋蠶	晩秋蠶
市町別	二〇〇	一〇〇
植田	一〇〇	五〇
勿來	一〇〇	五〇
上野	一〇〇	五〇
入選野	一〇〇	五〇
川前	一〇〇	五〇
田部	一〇〇	五〇
飯野	一〇〇	五〇
夏井	一〇〇	五〇
高久	一〇〇	五〇
豐崎	一〇〇	五〇
好間	一〇〇	五〇
赤井	一〇〇	五〇
永井	一〇〇	五〇
三阪	一〇〇	五〇
草野	一〇〇	五〇
大浦	一〇〇	五〇
下野	一〇〇	五〇
上野	一〇〇	五〇
川前	一〇〇	五〇
平市	一〇〇	五〇
合計	一〇〇〇	五〇〇

### ノチール禍

平市新川町自動車修繕工場地義三教師で、ワイシャツ、開襟シャツや子供服の裁断方法から縫方まで教へるとあるが會費は十圓である

### 言寸きわ

平市の住宅開放催かに申請提出十一軒、市の現貨からみて余りに少いと復興課から督促市民の同胞愛は完全に零に等しいことを表明してゐる、寂しいことではある交換嬢の評判が余り芳しくなつた中、布川、武藤の兩嬢、總裁の榮譽に輝く、この兩嬢の如く全部があつてくれれば加入者の不平も完全に解消しやう、皆さん御見習ひ下さい

## 謝近火御見舞御禮

平市彌宜町 木材生産組合 平第一工場 瀧口 豊

## 新時代の洋裁講習會

安積富美子 添田トシイ 松崎 切 講師 本學院教師  
主 催 郡山市 安積高等洋裁學院  
後 援 福島民報社

# 魚が何故に獲れない？

## 縣水産業會に其原因を聴く

食糧危機の突破は魚からと、漁業の擴大に漁業者は何れも張り切つて漁船の新造等を行つてゐるのに、昨今魚の出廻りが一向に活潑化しないのは何故であらうか？ 四倉町の縣水産業會に聴くと、潮流異變から定置漁業も冷水温に寒られて振はず一泊一日三十貫程度漸くの状態にある、例年ならば今頃は鯖の大漁をみるのに、今年はさつぱり獲れないのもこの原因に於いて、然しこれは潮流さへ變ればよい問題でさして苦に苦しむことはないが、今日に於いて最も悩みの種となつてゐるのは、アンモニアの製造力の著しい減退にある、これが生産能力の回復せぬ限りこの不漁を一番、漁業豫感を唱へることは相當難しからうとある。

## 崇るアンモニア不足

### 各濱とも製氷が殆んど拂底 魚群眺めつゝ出漁も出来ぬ

アンモニア不足が何故に漁業に回復しつゝあるといふものゝ大きな影響をもたらすか？ これこの点に於いて大きな悩みに直に製氷に直結し、それによつて氷不足が漁船の出航に即時に響く關係とある、水産福島の榮譽をその双肩に背負ふ小名濱江名、四倉の三大濱の現状は小名濱、江名は僅かに手持ちのストック水で辛じて間に合せてゐるものゝ製氷能力は全然ストップの狀態又四倉はストックの水が無く、辛じて不足勝ちなアンモニアに依りその都度製氷に間に合せてゐる始末、従つて漁業家は張り込んでゐるものゝ何とも手が出ず、徒らに腕を撫してゐるのである、鱈群も既に本縣沖合に近寄つてゐるにも拘らず、みず／＼見逃してゐる程、尙折角早くも出漁した鱈船も、漁區が遠かつたのと手持ち水の不足關係から母港への歸港もかなはずに最寄り港へ寄港水揚げ

## いつ入る

優先配給といふ、期日の程は不明

## 湯本校の講習

湯本國民學校では二日福島師範の鈴木教授を講師に國民科新教育の講習會を開いた

## 分與税打合せ

石城地方事務所では植田方部の各町村を三日平市公會堂日本間に召集、分與税並に配布税等の資料調査についての打合せを遂げたが、四日は平、内郷、四倉方部の打合せを同所に同様に開く

## 迷子

二日平市田町小松鎮表所に六歳の女児の迷子があつたが身許は判らず湯本町あたりらしいので、平署からの連絡により平市で保護中子供は大方湯本らしい

## 引揚者へ

平市では引揚者に近く油鍋の配給をする數量は大小合せて三百個を大一個拾參圓小十圓とあ

## 開 放

### 警察の民主化

民主化といふ言葉が最近盛んに使用されてゐる、御多聞に洩れず警察の民主化、民衆化も叫ばれ又警察自身も唱へてゐる大衆とは縁の凡そ遠い別格扱ひ化された態度から解放されて、グツとくだけて来たことは事實であり、甚だ大衆も親しみ易くなつたことは慶祝に堪えない

かくてこそ愛されし敬なく上り込んで茶の馳走になつた警署の警察官の中にもまだだか、一席やり得意でゐる者がある、上られた家は忙しく余りに民衆化するとも自分で放つて置くことも出来ぬの威嚇を損するが如くに考へ、無用のまで探して待滞する格別の待遇を心ならずもするのではないのである、誤つた民主化である、従つて警察官の誤つた民主化は實に愚の温度ともなるのである、繰返して申すが警察官も民衆も「民主化」の解釋を誤らぬやう御注意あられむことを切望してやまない

(一復員軍人)

## 小説寸評

### 凡 生

敗戦に伴ふ各界の混亂は想像してゐるに過ぎぬ。下手な馬鈴の範圍を限らない。文學界に於て舊や玉葱の繪を連想するのみ。でも豫想以上の人の浮沈がみられ、同人「盲者と導者(八間一月號)」の出来事に因つた。信之は兄、かよには姉が有る。興亡を賭けた戦の最中に兄は死に、信之は孤児として育つた。兄は我衣をまとう身であつたが、蒸し／＼する眞夏の夜であつたから、手に肩になつたり脂の浮く抱ようを續けてゐた。信之は廿八、かよは廿三、五つ異ひの情交は、今年の春から信之とがよと姉と兄は隔りの無親親しさを保つてゐたが、絶えず嫉妬を燃やしてゐる不思議な現象が起つてゐる。D D Tを巡る際、進言に依り國民學校女生徒の毛の驅除を要請したが此の科衛生部長ゴス大尉の好意に依り許され薬品も到着したので三日から市内四國民學校二千四百余名にD D Tを散布した

三日 第二校五〇〇名、第一校八六〇名、四日 第三校七八〇名、五日第四校三五〇名

湯本町事務所 電話二二六番

## 不倫

### 秀也

信之は暗の中に義姉の姿を眺めてゐた。かよは義兄の胸の匂にひたつてゐた。

信之は暗の中に義姉の姿を眺めてゐた。かよは義兄の胸の匂にひたつてゐた。

信之は暗の中に義姉の姿を眺めてゐた。かよは義兄の胸の匂にひたつてゐた。

## 女兒童に

### D D Tを

進言に依り國民學校女生徒の毛の驅除を要請したが此の科衛生部長ゴス大尉の好意に依り許され薬品も到着したので三日から市内四國民學校二千四百余名にD D Tを散布した

三日 第二校五〇〇名、第一校八六〇名、四日 第三校七八〇名、五日第四校三五〇名

湯本町事務所 電話二二六番

## 優秀

### 品(國産)御注文下さい

修理は迅速です  
遠近出張又は御持來  
各種附屬取換へあり  
平野前稅務署隣り  
大和屋ミシン

美術貴金屬、書畫骨董  
衣類雜貨、新古家財道具  
何んでも高價に  
買入れます

平市南町平館隣り  
中央會館

## 木村友衛

大浪曲  
七月六日限り  
小名濱 磐城座

かけもち無し  
七月六日限り  
小名濱 磐城座

製作設計修理  
▲營業種目▲  
▽：礦山機械  
▽：製材機  
▽：電氣溶接  
▽：自動車發生爐  
▽：三輪車發生爐  
▽：船舶機器

湯本町事務所  
電話二二六番

タモツ工作所

◆營業案◆  
一般油脂類  
陶磁器藥業品  
電氣瓦斯器具  
農機具自動車類

古川興業有限會社  
御希望の向には御一報次第係員  
參上致します

平市南町四十一番地

書籍 高價に載ります  
平市五丁目  
片寄 書店

書籍 高價に載ります  
平市五丁目  
片寄 書店

書籍 高價に載ります  
平市五丁目  
片寄 書店

してゐるのではないかとみられる、従つて本年の漁業の前途は他諸の條件は收戦の痛手を徐々し統制側も田植えは既に開始さ

別註文を發してゐるが何處も肥料生産に躍氣の折柄、これが入手は殆んど絶望でた頼みの綱は前記の特別註文である、これに對し統制側もよく縣の實情を了解し、製品の出來次第全國の各地の註文中優先的に配給するとの回答をこの程縣水へ寄せて來てゐるので、各濱とも今日には來るか、明日は來るかと思はれる、然し統制側も田植えは既に開始さ

引揚者へ  
油鍋配給  
平市では引揚者に近く油鍋の配給をする數量は大小合せて三百個を大一個拾參圓小十圓とあ

不倫  
秀也  
信之は暗の中に義姉の姿を眺めてゐた。かよは義兄の胸の匂にひたつてゐた。

女兒童に  
D D Tを  
進言に依り國民學校女生徒の毛の驅除を要請したが此の科衛生部長ゴス大尉の好意に依り許され薬品も到着したので三日から市内四國民學校二千四百余名にD D Tを散布した

優秀  
品(國産)御注文下さい  
修理は迅速です  
遠近出張又は御持來  
各種附屬取換へあり  
平野前稅務署隣り  
大和屋ミシン

木村友衛  
大浪曲  
七月六日限り  
小名濱 磐城座

製作設計修理  
▲營業種目▲  
▽：礦山機械  
▽：製材機  
▽：電氣溶接  
▽：自動車發生爐  
▽：三輪車發生爐  
▽：船舶機器

書籍 高價に載ります  
平市五丁目  
片寄 書店

書籍 高價に載ります  
平市五丁目  
片寄 書店

書籍 高價に載ります  
平市五丁目  
片寄 書店

書籍 高價に載ります  
平市五丁目  
片寄 書店

書籍 高價に載ります  
平市五丁目  
片寄 書店

書籍 高價に載ります  
平市五丁目  
片寄 書店

書籍 高價に載ります  
平市五丁目  
片寄 書店

書籍 高價に載ります  
平市五丁目  
片寄 書店

書籍 高價に載ります  
平市五丁目  
片寄 書店

書籍 高價に載ります  
平市五丁目  
片寄 書店

書籍 高價に載ります  
平市五丁目  
片寄 書店

書籍 高價に載ります  
平市五丁目  
片寄 書店

書籍 高價に載ります  
平市五丁目  
片寄 書店

書籍 高價に載ります  
平市五丁目  
片寄 書店

書籍 高價に載ります  
平市五丁目  
片寄 書店

書籍 高價に載ります  
平市五丁目  
片寄 書店